

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

| | | | | |
|-------------|---|-------------------------|----------|-----|
| ■事業の担当課 | 博物館 | | ■担当係 | 博物館 |
| ■評価事業名称 | 調査研究・資料収集等事業 | | | |
| ■事業開始年度 | | | | |
| ■評価事業コード | 402200 - 216 | ■会計区分 | 一般会計 | |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり | | |
| | ■基本施策 | 02 社会教育の充実 | | |
| | ■施策 | 03 社会教育機能の充実 | | |
| ■事業の類型 | 05 ソフト事業(任意) | | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に特に定めのないもの | | | |
| ■法令等の名称 | | | | |
| ■関連計画の名称 | | | | |
| ■事業の目的と概要 | 郷土の自然や文化をわかりやすく解説する冊子を作成することにより、市民の知識・理解を深め、郷土への関心を高める。各分野において研究を行い、その成果を冊子として発行する。 | | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成28年度事業計画 | 平成28年度事業量実績 |
|--------|--------------|-----------|----------------------------------|--|
| 01 | 調査研究冊子発行事業 | 市民 | H28年度冊子発行はなし。次回発行に向けた調査のみ継続して実施。 | H28年度冊子発行はなし。次回発行に向けた調査のみ継続して実施。 |
| 02 | 専任研究員等設置事業 | 市民及び学術研究者 | 配置した専任研究員2人、研究員3人。各種学習活動への講師派遣 | 配置した専任研究員2人、研究員3人。各種学習活動への講師派遣(受講者数1,360人)。 |
| 03 | 資料収集・整理・保管事業 | 博物館 | 適宜資料受入 | 常設展示リニューアル、和賀分館2階収蔵庫の新設に伴う資料の移動・整理。その他、丹治敬子氏収集の民具コレクション等を受入。 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | 4,140 | 4,233 | 3,996 | 3,783 | |
| 人件費 | 6,474 | 5,405 | 6,255 | 8,267 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 10,614 | 9,638 | 10,251 | 12,050 | |

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

| 指標コード | 指標名 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 指標の説明 |
|-------|--------------------|------|------|------|------|------------------------------|
| 01 | シリーズ、博物館研究報告等の発行回数 | 1回 | 1回 | 0回 | | シリーズ、博物館研究報告書の発行回数(交互に隔年で刊行) |
| 03 | シリーズ、博物館研究報告等の発行部数 | 450部 | 500部 | | | シリーズ、博物館研究報告等の発行部数 |
| 04 | 頒布1冊当りコスト | | | | | |

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

当館の研究成果について、市民に提供することができている。また、学芸員、研究員を講師として派遣することで、市民のニーズに応え、学習の場を提供できている。

問題点・課題等

研究成果を高め、広く提供していくため学芸員、専任研究員などの体制を強化する必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

博物館の主要業務であり、他の先進的な博物館などを参考にするなど情報収集するとともに、より機能を充実していく必要がある。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了